

歴史的建築物の所有者への意向調査を実施しました！

犬山城下町
まちなみ便り

■歴史的建築物とは

木造建築の「町屋」に見られるような歴史的様式を持った建築物や土蔵、門・塀などの附属屋であり、概ね戦前(昭和初期)以前に建築された建築物等です。

■調査の目的

歴史的建築物の所有者の意向を把握することで歴史的建築物の保全に向けた取組を行うことを目的としています。

■回収状況

意向調査送付件数 174 件
回答数 81 件
回答率 46%

■調査期間

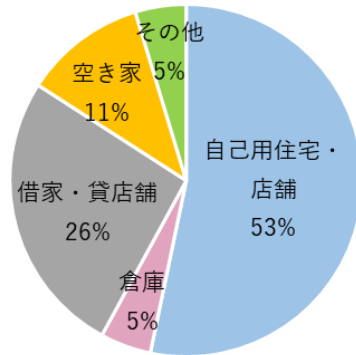
令和6年8月7日～
令和6年9月26日

■意向調査結果

現在この建物を活用していますか。

歴史的建築物の約80%は「住宅や店舗」として活用されています。

しかし、活用されていない「空き家」が11%、「倉庫」も5%となっており、今後の活用が期待されます。



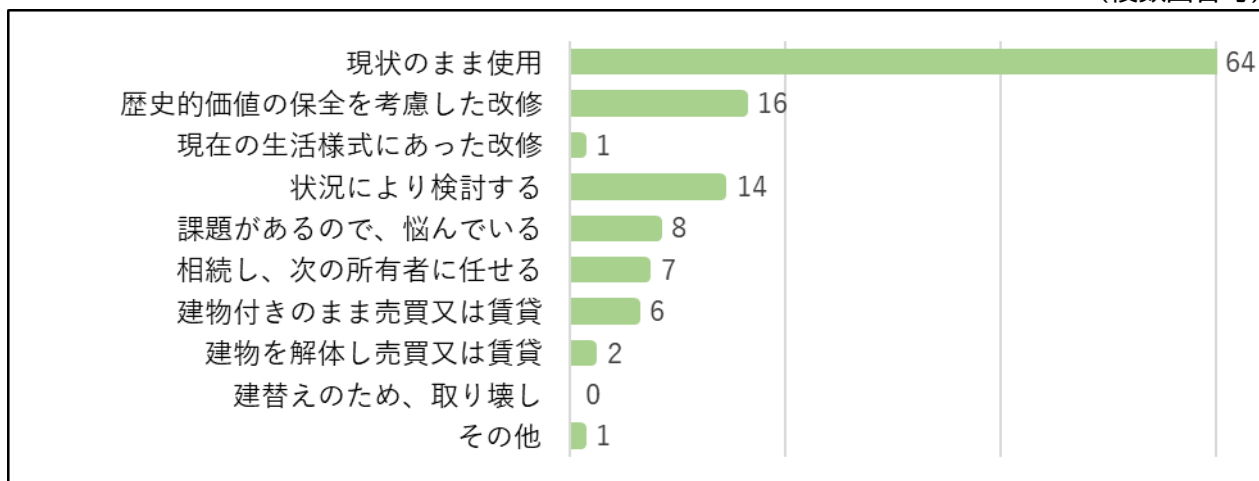
R6. 12月号
発行:犬山市

この建物を今後どうする予定ですか。

「現状のまま使用」が64、「歴史的価値の保全を考慮した改修」が16などの回答から、今後も活用に向けた意思が感じられます。

また、「状況により検討する」が14、「課題があるので、悩んでいる」が8とあるように、建物の課題で、今後について悩んでいる方も多くいる状況です。

(複数回答可)



これらの歴史的建築物については、犬山城下町において「まちなみ景観」の重要な構成要素でありますので、保全に向けた改修費の助成や無料住宅相談、空き家バンクなどの支援が受けられます。

お困りの所有者の方々は、ぜひ一度ご相談ください。

■ お問合せ 犬山市 都市計画課 (市役所2階) TEL: 0568-44-0331
歴史まちづくり課 (市役所3階) TEL: 0568-44-0354

城下町で古民家活用

現在、犬山城下町で国登録有形文化財の小島家・真野家を宿泊施設として活用するための改修が進んでいます。

この事業は、観光庁の補助を受けて地域資源の古民家を活用して、まちなみ景観の保存と地域の活性化を両立する取組となっています。

市としても、歴史的建築物の活用は重要な課題であり、景観に配慮した先導的事例として今回は事業主体である株式会社DONDON代表取締役の石田芳弘氏に犬山城下町の今後のまちづくりへの想いについてお伺いしました。

— 石田さんのお話 —

犬山城下町の景観まちづくり

平成2年に余坂で高層マンションの計画が持ち上がり、市民運動が起きました。その活動に加わったことで、古いものを大事にしなればと改めて感じました。

犬山城下町のまちなみ景観を守らなければ、自分の生まれ育ったところの懐かしさとか面影が壊れていくような気がしました。その点では、犬山はものすごく恵まれています。犬山城とい



小島家の改修風景

う日本で一番古いお城があつて、その眼下に広がる城下町と一体となって、日本の懐かしさとか面影を漂わせています。

当時は本町通、新町通の拡張の計画があり、道の復権が犬山の使命だと思えました。他の城下町は道を拡張していましたが、犬山城下町だけは道の良さを残さなきゃいけない。

道に出ておしゃべりしたり、犬山祭で車山を引く光景は、道路を拡張することで無くなってしまいます。

そこで市民の皆さんにもう一度問い

直していったら、拡張は待った方がいいのではという雰囲気になり、これまでのまちなみを残すため、拡張計画が見直されました。

平成18年には、国のまち交大賞で大賞を受賞するなど、犬山城下町でのまちづくりが評価されてきました。

犬山城下町での古民家の改修

今回、この2つの古民家活用の取組は、犬山城下町において日本人全体の失いかけているものを改めて見直すきっかけになると思います。

今の近代文明がなくなっていくものを一生懸命大事にしていくことが、犬山城下町の役割であり、この2つの建物をそういうコンセプトによって再生をしていきたいと考えています。

この計画が進んでいくにつれて、2つの建物のある町内の空気も微妙に変わってきていると感じています。

両家ともこれだけ大きい建物の明かりが点きだすと町内の雰囲気が変わって、夜の街に何か明るいものが芽生えてきます。そういう予感を感じて、次に自分の建物を改修したいという人が複数現れてきています。

この取組が、犬山城下町の方向性や役割について、また一つ違う側面を見せてくれるような気がしています。



真野家の改修風景

今の建物は高気密高断熱で快適なようだけど自然の四季の変化が感じできません。昔からある木造建物は風が入ってくることで、犬山城下町と木曾川の良さ、四季折々の風が吹くことを感じてもらいたいと思います。

今回の2件は宿泊施設として改修しますが、今後も色々と試行錯誤を繰り返しながら町家の多様性を模索していく必要があると思っています。

犬山城下町を宿泊の町にしたいのは、ライトアップされた夜の犬山城は昼間とはまた違った美しい景観であり、これを世界中の人に見せてあげたいと思うからです。